

# 議会だよ入善

GIKAI

DAYORI

にゅうぜん  
NYUZEN

No. 123

2002年10月27日



火の用心カチカチ……写生会

9月定例会

ケーブルテレビの宅内工事費を補助 補正予算 2

国民の主食コメを守れ 請願・要望・条例 3

海洋深層水で企業誘致を 常任委員会 4

町政を問う 一般質問(10議員) 6

市町村合併ちゃ、どうなるがけえ~!! 17

「浦山新の川神さま」入善むかし話・傍聴席からひとこと 18



# ケーブルテレビの宅内工事費を補助 情報化推進事業費ほか3億6794万円を増額補正 一般会計総額103億4785万円に

今回の補正は、来年4月のケーブルテレビ開局に向けた準備負担金と、全世帯の加入促進のための宅内工事費の補助金など、情報化推進事業関連をはじめ深層水供給施設等整備事業費、北陸新幹線整備促進事業費が予算化された。

**情報化推進事業費**  
1億2532万円

ケーブルテレビは新たな行政情報およびサービスの提供に向けた整備。新川広域圏が事業主体となって黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町の1市3町の整備に取り組む。キャンペーン期間を設定し、その期間中の加入者に対して宅内工事費を補助する。全世帯の加入を想定し、補助金額1億2377万円を予算化。

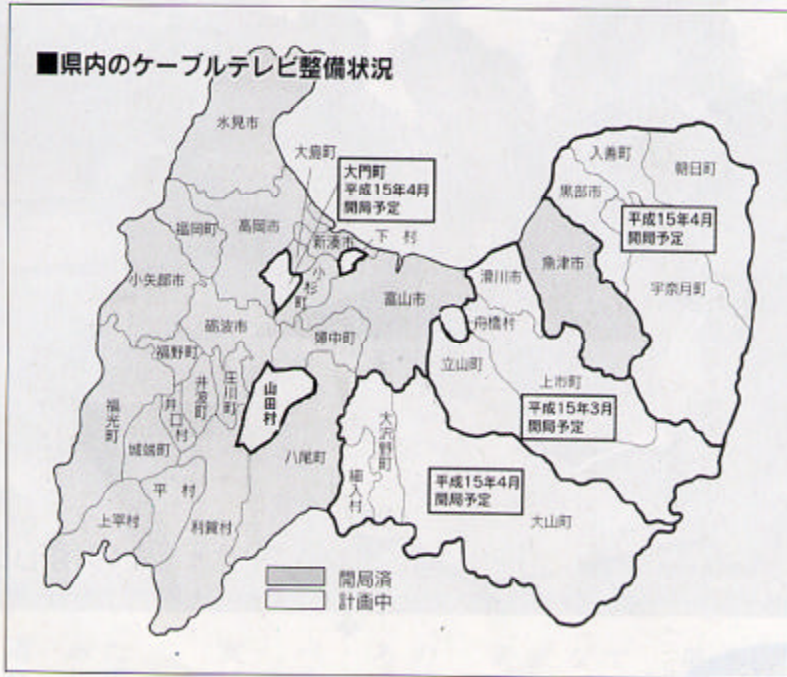
**広域圏事務組合費**  
町負担金 2173万円

来年4月のケーブルテレビ局の開局準備にかかる費用を1市3町の負担割合に応じた負担金を予算化。

**深層水供給施設等整備事業費**  
8336万円

海洋深層水の取水時にプランクトンを除去するためのネット

ト取り付け工事費270万円と、仮設駐車場の用地購入費563万円を予算化。



**北陸新幹線整備促進事業費**  
3500万円

北陸新幹線の整備に関連する周辺道路の整備および地元の施設整備に対する助成金を予算化。

**障害者、高齢者福祉事業費**  
1113万円

在宅重度身体障害者および高齢者住宅改善に関する補助金457万円ほか、精神障害者ホームヘルプ事業、身体障害者デイサービス事業の委託費を予算化。

**道路改良舗装事業費**  
9170万円

改良および舗装工事は継続事業の神林入善中学校線（青島地内）ほか12路線を、用地および補償費は東五十里線ほか11路線を予算化。



## 請願・要望など

●国民の主食・米の生産を守り、国民に安定供給をはかる米政策の実現を求める意見書提出を求める請願

請願者 農民運動富山県連合会

この請願は、議会から国会に対して意見書の提出を求めるもの。内容は「米の生産と安定供給、暴落した米価の回復と実効ある措置、農家が安心して米を作る価格保障、ミニマムアクセス米輸入の削減・廃止」である。

●米政策の改革に関する要請書

請願者 入善町農業協同組合

同様の内容で、入善町農業協同組合から「米政策の改革に関する要請書」が提出された。

産業経済常任委員会に付託、審査の結果、農業を基幹産業とする町として、「ミニマムアクセス米の輸入を廃止すべきだ」との意見があり、請願と要請を加味し「国民の主食・米の生産を守り、国民に安定供給をはかる米政策の確立を求める意見書」を小泉内閣総理大臣、農林水産大臣などへ送付した。

●「森林・林業基本法」に基づく施策の充実に  
ついて  
(意見書採択のお願い)

要望者 新川森林組合

国に計画的な森林・林業対策の推進を求める意見書提出を求める要望書が提出された。

産業経済常任委員会では、水源のかん養、国土や自然環境の保全、地球温暖化の防止など、森林の有する多面的な機能を国民全体で支える観点に立ち、「森林・林業基本法」に基づく施策の充実を求める意見書」を、小泉内閣総理大臣、農林水産大臣などへ送付した。

●明年度税制改正に伴う「地方税源の充実確保に関する意見書」の採択提出について

要望者 全国町村議会議長会

活力と個性ある地域社会を実現するため、地方税源の充実確保に関する意見書提出を求める要望書が提出された。総務常任委員会では地方分権の進展、少子高齢化に伴い、地方自治体が担う役割がますます増大することから「地方税源の充実確保に関する意見書」を小泉内閣総理大臣、総務大臣をはじめ地元選出国會議員に送付した。

## その他の請願

その他の請願についての審査結果は次のとおり。

●町道西中・中沢線道路拡幅についての請願

請願者 西中地区

区長 舟本 勇

全員賛成で採択

●島地区中央線の「路面消雪型」から「一般舗装」への変更についての請願

請願者 島地区

区長 林 吉朗

全員賛成で採択

●町道神子沢く下飯野新線（下飯野新地内）の拡幅と排水路の改良に関する請願

請願者 下飯野新地区

区長 小川 進

外5人

全員賛成で採択

## 条例・規則

議決された条例は次のとおり。

■入善町国民健康保険税条例の一部改正

▼賛成多数 原案可決

公的年金等特別控除、給与所得特別控除の廃止による増税、青色専従者給与控除、長期譲渡所得等特別控除の適用による減税。

■入善町国民健康保険条例の一部改正

▼賛成多数 原案可決

主に3歳未満の乳幼児の負担を3割から2割へ引き下げ（今まで通り保護者の負担はなし）、老人保健対象者を70歳から75歳に引き上げる。

■入善町火災予防条例の一部改正

▼賛成全員 原案可決

消防法の改正により、安全基準の強化、火気設備と建築物との距離についての規制を明確にした。



# 常任委員レポート

## 総務

### どうなるケーブルテレビ

- Q 加入促進はどのように行うのか。
- A 10月から各地区で説明会を行い、その後全職員で勤務時間外に個別に訪問する。
- Q 職員には超過勤務手当を支給するのか。
- A 支給する方向で検討する。

### こんな意見も

○戸別訪問で強制的な加入はすべきでない。  
○この事業は自治体が行うべきものなのか疑問だ。職員の戸別訪問は住民への奉仕とは異なる。多くの請願・陳情が出されており、急がなければならぬものがある。



始まったケーブルテレビの工事

る。

○地方での情報インフラは、民間では難しく、行政が行うのも一つの方法。防災や行政情報で住民と密接になれるし、将来の多彩な情報提供に備えるにも必要である。

### 国民健康保険税条例の改正の内容は

- Q 改正で増税、減税になる人数および額はどれくらいか。
- A 公的年金特別控除の廃止で国保加入者約4900人のうち1400人が1万1900

## 教育福祉環境

### 大きく変わる心身障害者への援助制度

- Q 来年度から、現在の国の措置制度が、町主体の支援制度になることで、国や県の負担費用はどう変わるか。
- A これまで施設利用者には国の措置費、居宅支援には県の補助金として所得によって給付されていた。来年度からは、障害度、所得に応じて町が支援費を決定するが国県の費用負担はかわらない。

### 利用の多いIT講習

- Q IT講習委託料の増額補正はこれで十分か。
- A 予想を超える申し込みがある。

円の増税になる。給与所得特別控除の廃止で約1200人が1400円の増税になる。青色申告では、専従者の給与が必要経費となるので減税となる。長期譲渡所得等特別控除の適用で減税になる。

### 住宅改善支援事業のわかりやすいPRを

- Q 下水道工事が進み、トイレの改修も増えてくる。この補正額で十分か。
- A 4月から18軒の申し込みがあった。不足すれば年末に補正を組む。
- Q 住宅改善にはいくつもの支援制度があるが重複して利用できるのか。
- A 在宅重度障害者、高齢者、介護保険の三つの支援制度があるが、改修費用の限度額の合算はできない。ただし、一部併用は可能で、若干有利になる。
- Q 大変分りにくいので、分かりやすいPRに努めるべき。
- A 業者にその旨伝えている。

り、6月の296人分に続き、今回も240人分を提案した。全額県の補助だが、必要なら町単独でもやる。

- Q 講習内容はどの程度のレベルか。
- A IT講習は文字入力、インターネット接続など基本的なもの。次のステップには町独自でパソコン教室を開いている。



## 新制度の精神障害者 ホームヘルプ事業

- 精神障害者ホームヘルプ事業の利用状況はどうか。また町民には知らされているか。  
 ○今年から始まった制度で、今のところ一人の利用。「家族の会」などと連携しており、基本的には厚生センターの担当者が生活実態を見ながら判断している。

## 早期の施設の修繕を

- 南部保育所の雨漏りの修繕費に大きな補正を組んでいるが、そのつどの早急な対応をすれば、これほどの費用は必要なかったのでは。また、なぜ当初予算に組まなかったのか。  
 ○これまで少しずつ直していたが、抜本的な修繕が必要と判断した。当初から分かっていたら、本予算に組んでいた。

## 引き上げられる 高齢者の医療費負担

- 10月から導入される老人保健の高額医療費の委任払い

制度は、複雑過ぎて高齢者は手続きできないのでは。返却まで何カ月かかるのか。

- 国保連から通知が行く制度になるかもしれない。返却はできるだけ早くしたい。  
 ○窓口の1割負担では、お金がなければ医者にかかれないのではないか。  
 ○所得によって一部2割負担になる。総じて負担は増える。

こんなやりとりも

- リストラなどで、退職者の国保加入者が増えているのは。  
 ○一年で約350人増えている。

- 町には保育所の数が多く、保育も町の職員で行っている。どこかの時点で切り替えていくことも検討する時期にきているのでは。  
 ○保育所の統合は、いずれは適正な規模を考慮して考えていく。また、民間に任せることも必要。

## 産業 経済

### 海洋深層水で積極的な 企業誘致を

- 取水施設近くで購入する三角形の土地は、駐車場としてふさわしくないのでは。  
 ○将来の企業立地の候補地として整備するもので、隣接地へも広げていきたい。  
 ○海洋深層水取水施設のプラントの発生は、当初から予測されていたのか。

今後次々とこのようなことがないように、しっかりとした計画を立てるべきだ。  
 ○基本計画では想定されていたなかった。施工業者に問い合わせたところ、高知県でも同様の対策をとっているとのこと。

こんなやりとりも

- 町は立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会に参加するとのことだが、何を目的とした協議会か。観光促進の名のもとでの自然破壊がないように願いたい。



海洋深層水施設周辺の仮駐車場予定地

○黒部・立山地域の世界自然遺産登録を目指している。観光促進を図っていきたい。

- 新幹線整備促進事業の対象は何か。  
 ○地権者が10人以上いる地域で、町が行う道路や水路、公民館の工事費に県が補助をするもの。

- 昨年予算付けした中央通り線の工事は行われなかったが、その後どうなったか。  
 ○県の予算は3分の2を返上した。今年も難航している。

こんな意見も

- 町民は幹線道路網の整備に関心が高い。用地交渉をすみやかに進め、積極的に整備を図られたい。  
 ○海洋深層水施設周辺での土地購入は、時宜を得たもので購入単価も適切である。  
 ○ミニマムアクセス輸入米は即刻廃止すべきであり、町としても強気に運動を進めていくべきだ。



# 町政のここが聞きたい

# ここが知りたい

(10人の議員が登場)

**本多幸男** 議員  
(7P)

- ・町長再選挙をめくっての総括を問う
- ・公約した市町村合併をどのように進めていくのか
- ・特別養護老人ホームの不在者投票のあり方に指導制を

**佐藤一仁** 議員  
(8P)

- ・憩いの場として黒部川河川敷の整備を
- ・業者ランク付けやJVの見直し、下水道工事の均一化を

**九里郁子** 議員  
(9P)

- ・合併問題は住民の利益と自治尊重の立場で
- ・合併懇談会で上映したビデオの篠山市をモデルと考える根拠は何か
- ・障害者支援制度は生活実態にあったものに

**長谷友義** 議員  
(10P)

- ・黒部川河川敷のカメムシ防除対策を
- ・町村合併すべきとの考えに変わりはないか

**中瀬範幸** 議員  
(11P)

- ・幹線道路網整備計画を早急に策定し、道路整備を進めよ
- ・道路工事の各地区要望364件を、公正に早急に進めよ

**長田武志** 議員  
(12P)

- ・今回の「町長やり直し選挙」の意義は
- ・合併に向けての姿勢と基本構想は

**東狐和** 議員  
(13P)

- ・町民の融和を図り、公平・公正な町政の運営を期待する
- ・特養老人ホーム施設長の公募制を望む
- ・教育のあるべき姿を示せ（ゆとり教育元年の相次ぐ悲劇）

**山下勇** 議員  
(14P)

- ・アワビ養殖の市場性的見通しは
- ・深層水利用には健康施設が急務
- ・今回の選挙での寿楽苑への対応は

**松田俊弘** 議員  
(15P)

- ・議員主催のゴルフコンペへの支出は不適切
- ・大幅に引き上げられる介護保険料の減免制度を
- ・政府の米政策の方向では農業をだめにする

**大橋美椰子** 議員  
(16P)

- ・僅差での勝利、どう受けとめているか
- ・「入善町雇用対策推進本部」の実績と効果は
- ・建設業の実態および共同企業体を組む理由は

## 一般質問

## 第7回定例会

失職選挙後初の9月議会は10日より開催。一般質問は、17・18日に行われた。町長の今後4年間の政治姿勢を聞き、市町村合併、ケーブルテレビ受信など、住民にとって多大な影響を及ぼす事業に鋭い質問となった。主な内容は次のとおりである。

(ここに掲載されている内容は個々の議員がその要旨をまとめた)

議会事務局に議事録があります



# 町長再選挙をめぐるつての総括を問う

本多 幸男 議員

## 町長 町民は米澤町政の継続を望んだと思う

問 昨年10月の町長選挙は無効との県選管の裁決、名古屋高裁の判決を受け、全国から注目される中で再選挙が実施された。怪文書や個人攻撃の汚い現象がいまだに続いているが、今次町長再選挙をめぐるか、米澤町長 今回もしのぎを削る厳しい選挙であった。結果として、公約に掲げてきた新総合計画の継続、平成17年3月の合併特例法期限までの市町村合併、海洋深層水事業の継続など、町民は米澤町政の継続を望んだと理解している。

問 町政全般について、町長の言う公平・公正とは何か。

町長 文字通り、町民一人ひとりと分け隔てなく、公平・公正に行政運営を行うということである。町の工事発注関係にあっても、公平・公正に行



この橋も市町村合併のかけ橋になるか

うということである。浄化センターの用地買収価格の件で「まさあき通信」が間違っていたことは、申し訳なく思っている。

問 町長が公約した市町村合併のスケジュールをどのように

に進めていくのか。

町長 10月下旬から11月に予定している町づくり懇談会において、合併問題について再度、町民の意見や考えを伺いたい。その上で、議会とも十分相談しながら、年内には合

併協議会を立ち上げられるように準備を進めたい。いずれにしても、特例法期限である平成17年3月までには合併を実現させたい。

特別養護老人ホームの不在者投票のあり方に指導制を

施設側と協議し適切な執行に努めたい

問 名古屋高裁の判決について町選管の見解はどうか。

池原選挙管理委員長 裁判所が検討された結果、少なくとも重度の痴呆の状態にあると判断された18人は、選挙や不在者投票の意味を理解し、自らの意思で投票用紙などの交付請求の依頼をしたとは認められないとした。

また、不在者投票において自らの意思によって代理投票の申請をしたり、候補者の氏名を指示などしたと認めることができないとして、18人の投票は、不在者投票および代理投票に関する法令に違反していたと判断した。

したがって、当選人と落選した者の得票差が8票であったのであるから、選挙結果に異動を及ぼすと判断され、選挙無効の判決にいたったものである。

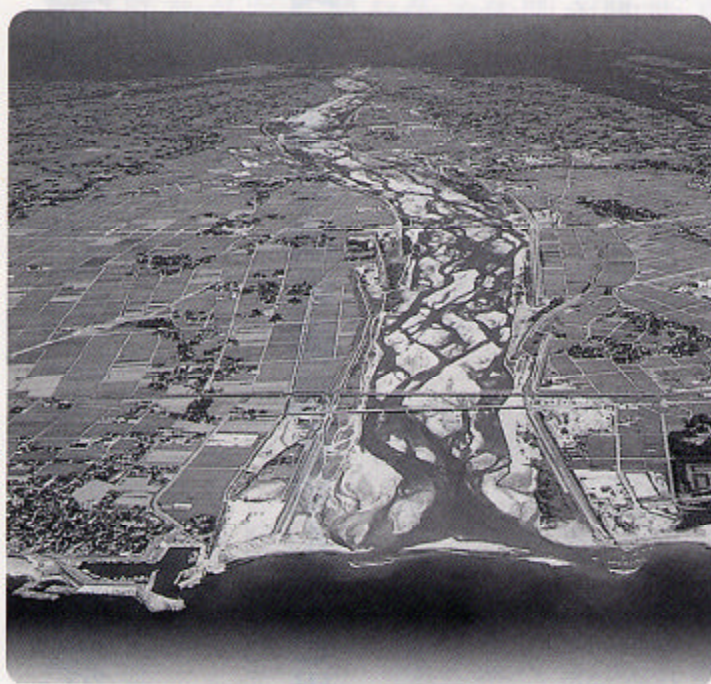
この判決は、県選管の裁決を全面的に支持するものであった。町選管としては、県選管の裁決や裁判所の判断を、明快な判断と受けとめ、今回の再選挙の管理執行にあたってきた。今後とも県選管と同様、入所者の心身の状態が様々であることから、マニュアルづくりは困難であるが、施設側と協議の場を持ちながら適切に執行に努めたい。



# 憩いの場として黒部川河川敷の整備を

佐藤 一仁 議員

## 町長 国土交通省と協議したい



河川敷に憩いの場を

問 黒部川河川敷にウォーキングコースやパークゴルフ場整備などを図り、健康づくりや環境意識のめばえを。併せて、小川左岸を住民憩いの場に整備すべきだ。

町長 入善町は「公園都市宣言」以来、多くの公園整備をしてきた。黒部川右岸については墓ノ木、青野自然公園を緑あふれる公園として整備を進めてきた。黒部工事事務所でも「黒部川生態系保全計画検討委員会」が設立され、河

川整備や管理に提言、助言することになった。現在国が行っている堤防整備は、予算枠が少ないので、地元自治体とのタイアップがないと事業が遅れると聞いている。町はどのような協力が必要か、国土交通省と協議していきたい。

小川については、平成6年度に「小川水辺空間活用構想」が県で策定され、古黒部地区に接つみ事業が計画されたが、農地交渉に地元の同意が得られなかった。現在、この

構想を実施する補助事業はないと聞いている。

業者ランク付けやJVの見直し、下水道工事の均一化を

JVは効果を見極めながら取り組む。均一化は困難

問 平成14年度4月から8月までの公共下水道工事契約は合計31工区、請負総額は8億5102万円であるが、その発注状況は金額、施工延長、落札率のそれぞれの部分で様々な契約となっている。さらに業者形態もJVが2工区に取り込まれている。このような状況は町民にもわかりにくい。業者ランクを廃止したり、工区を均一化する考えはないか。

木本助役 公共事業の発注に関しては「透明性の確保」「公正な競争の促進」「適正な施工の確保」「不正行為の排除」について考慮し、低コストで高品質な工事の完成を目指し実施している。

業者の指名については、入善町請負工事等入札参加者選

定要領にもとづき、助役を委員長とする指名業者選定委員会で行っている。

また、土木工事に限り、AからDの4ランクに格付けし、その中から指名を行っている。格付けについては、公共事業の適正、効率的な執行を確保するために必要なものと考えている。

また、財政逼迫のおり、事業費節減や施工管理の効率性を高めるためにJVによる発注をしたが、現在は試行の段階であり、効果を見極めながら取り組んでいきたい。

工事区間の均一化については、難易度や施工時期、道路事情、地区行事などの条件に応じた工事区間の設定が必要であり、均一に設計するのは困難である。

したがって、現在のランク付けによる発注形態は、施工管理や安全管理面を考慮すれば適切なものと考えられる。

\* JVとは、共同企業体のこと、複数の事業者が資本を出し合って短期につくる企業



# 合併問題は住民の利益と住民自治尊重の立場で

九里 郁子 議員

障害者支援制度は生活実態にあったものに  
専門職の配置も含め  
体制を整えていきたい

## 町長

### 町が発展するには合併は避けて通れない

問 2005年3月の特例法の期限切れまでに合併を積極的に取り組むとする理由はなにか。合併した場合、しなかった場合で地方交付税はどのように違うか。

町長 地方交付税の減額が予想され、税収の伸び悩みなどに対応するためにも、合併も選択肢となる。合併特例の財源措置を有効に活用すべきと考える。

地方交付税は、2市3町で合併した場合、合併後16年目で約24億円ほど減額になる。合併しない場合、入善町だけで5億円ほどの減額が推察される。

問 私は、町が合併懇談会でビデオ上映した篠山市へ調査に行き、支所長、商工会事務局長、町内会長、住民、前町



すずらん教室で作業中の皆さん

議などと懇談してきた。

旧西紀町役場庁舎は支所となり、76人いた職員が4年目の現在は9人。次長は「支所というより連絡所。住民の声がスムーズに伝わらず、1カ月も忘れられていることもあつ

た」と言っていた。

無料だった今田町の保育園通園バスが、高い篠山町に合わせ毎年上がり2000円になる。使用料、手数料の引き上げなど住民負担の計画が目白押し。ビデオでは「公共料

金は一番低いところに設定できた」としているが、実際はまったく違っていた。住民への資料としては、大変な誤解を与え、判断を誤ってしまう。篠山市をモデルと考える根拠はなにか。

問 来年4月から障害者福祉制度が変わり、障害者本人が利用したいサービスを決め、事業者を選んで契約する仕組みになる。町内では利用者は何人か。

これまで県が行ってきた支援費の支給と利用者負担額の決定、事業者への支援費の支払いなどを町がしなければならぬ。これまで以上に専門知識が求められ、現状の職員体制では不十分。現在の利用者が、これまでの水準と利用料で受けられるよう万全の措置をとるべき。

問 地方交付税の制度が変質され、大幅に交付額が減ることになれば、合併してもしくても自治体の地方交付税は減り、合併すればさらに減ることになる。目先のことに目を奪われず、地方自治の原点にたつて考えるべき。段階補正で町にきている交付税はいくらか。

助役 現在の利用者は87人。現状の事務体制には大変懸念しているが、県の更生相談所などに支援を要請したい。現在受給されている方の水準を落とさないことが当面の課題。専門員の配置は必要になった段階で検討する。

大角財政課長 3000万円ほどと見込まれる。



# 黒部川河川敷のカメムシ防除対策を

長谷 友義 議員

町長

## 公共用地のカメムシ防除には町とJAが協力して行っている

問 黒部川河川敷にはカヤなどが生い茂って何十年も伸び放題のため、野ネズミの繁殖が盛んとなり、またカメムシなどの温床となっている。そのため川沿いの地区では斑点米が多く発生し、一等米の比率が低下している。昔、農家が全戸で野火を行った。そうすることにより虫などは撲滅できた。野火を行ってはどうか。

町長はこのことについてどのような対策をとるのか。

町長 水稲期間中2回、適期に防除し、入善産米の品質の向上につとめている。

県の河川敷や企業敷地などについては、官民一体となってカメムシ防除の徹底を図っている。

しかし、堤防外地いわゆる河川敷内については、下流への影響、環境の変化、水質の汚濁などの理由から、国土交通省黒部工事事務所では草刈りや除草剤の散布などは行わないと聞いている。

春先の野火については、越冬害虫などの駆除を図る意味では最も有効な対策と思われる。しかし、実施にあたって

は法的な面、地元の協力など、様々な問題が考えられるので、今後も黒部川沿線の地区とも協議を行い検討したいと考えている。

町村合併すべきとの考えに変わりはしないか

合併をすすめることが町の将来によいと考える

問 町長は町村合併に対し、一貫して住民の判断で行動すると言っていたが、失職数日前に合併するべきと言っていた。今もその考えは変わらな

いか。

町長 合併問題は、何よりもまず住民の意思を踏まえることが重要と言っていたが、先に開催した地区合併懇談会などで、町民から多くの意見が出された。

10月から11月にかけて、まちづくり懇談会に合わせて再度合併について懇談したい。また、議会とも十分協議しながら合併を進めることが入善町の将来にとって良いのではと考えている。



防除の対策が待たれる河川敷

問 12月まで合併を前提とする協議会の立ち上げはできるのか。

町長 合併協議会の設置については、今年の12月定例議会までに、ある程度の形でまとめるよう準備を進めていきたい。

問 魚津市は、滑川市との合併を考えているようだが、この件についてはどう考えているか。

町長 魚津市と滑川市との関係は直接には聞いていないが、2市3町が望ましいと思う。最終的には、合併しようとする市町が、お互いの合意の中で進めていくことになる。



# 幹線道路網整備計画を

## 早急に策定し道路整備を進めよ

中瀬 範幸 議員

### 町長 県、民間を含めた検討委員会で14年度中に策定する

問 道路は、町民が毎日使う最も身近な社会資本である。道路の役割とあるべき姿について基本的な考え方を示せ。

町長 役割としては、①地域住民の日常生活に不可欠な生活関連施設②経済活動を支える人、生産物の輸送路③公共公益施設への連絡路④各地域を相互に連絡し、人・物・心・情報などのネットワークの形成の4点を考えている。

あるべき姿としては、車同士のすれ違いができ、かつ除雪作業がしやすい道幅であり、子供からお年寄りまで安全で安心して歩けるやさしい道路であると考えている。

問 平成2年度に策定した幹線道路網整備計画の進捗状況と成果はどうか。また、新たに検討している整備計画を示せ。

浜田建設課長 整備計画路線数は、国道・県道・町道合わせて21路線であり、15路線着工している。平成3年度に国から「まちづくり市町村道整備事業」の地区指定を受け、運動公園線、平曾川国道線、黒部朝日公園線、8号バイパスなど計画の7割を着工した。

一部供用開始し、町民の利便性が向上していると思う。しかし、いくつかの重要な路線が中断するなど課題を残している。

現在策定中の、新道路網整備計画は県、民間代表も加え検討委員会で検討を進めている。道路財源不足が深刻であり、既存道路の質的向上を重点に考えている。基本構想は12月末まで、整備計画は来年3月までに説明したい。

各地区要望364件を公正に早急に進めよ

必要性や優先度が高く地元意見がまとまっている所から

問 平成14年度各地区からの道路などの要望が364件、90億円にも達している。公平・公正に進めているか。

建設課長 限られた予算の中で全ての要望に応えることは困難であり、必要性や優先度が高く、地元の見解が十分まとまっている所から順に進める。①交通量の多い道路②公共施設や幹線道路へのアクセス道路③人家連たん道路④除雪作業に支障をきたす道路などを優先的に整備すべきと考えている。利害に左右される事なく、中立的立場で進めて



工事が中断した危険な幹線道路

いる。  
問 入善町の道路整備率は宇奈月町、朝日町より大きく遅れている。不景気が続く中で建設業界を活性化するためにも、合併特例債などを活用し一気に進めるべきだ。

建設課長 入善町では基盤整備により道路延長が長く、他の町に比べて率では低いと思う。将来的に地域にとって必要なインフラの整備については、当然合併特例債の活用も検討していく。



# 今回の「町長やり直し選挙」の意義は

長田 武志 議員

## 町長 結果として昨年の選挙と変わらず

問 町長選挙は、町の発展と町民の幸せを求めて、町民のために働く人を選ぶものだ。政策に大きな違いのない2人が3度も選挙を戦い、3度とも同じ人が勝つということは、全国的にも稀な事態だ。これは町長になりたい人よりも町長にさせたい人の意向が強く反映された結果だと推測する。

市町村合併を目前にし、2年半の短い期間で町の舵取りを託し、何を期待し何を得ようとしたのか疑問が残る。今回の「やり直し選挙」は誰のための選挙だと認識するか。町長 多くの時間と経費をかけ努力をかけた1年であった。2回の選挙をしなければならなかった町民が一番大変であったと思う。今後は、町政をしっかり運営できるよう町民の期待に応えたい。

問 町民に不安と混乱を与え、町政の停滞と貴重な税金を使った「やり直し選挙」であったが、前回の選挙後と今回の選挙後に何か変化がみられたか。町長 結果として何も変わっていない。しかし町民と膝を交えじっくり話す中から、明

日の入善町をどう築いていけばよいか自分で見えて来たことが成果。新しい総合計画が2年目に入っており、これも着実に実施していくことが使命だと思っている。

### 合併に向けての姿勢と基本構想は

### 2市3町を基本的枠組みとして成功させたい

問 市町村合併において重要な役割を果たすのは、議会と町民に対し最も大きな責任を有する町長であり、そのリーダーシップが合併成功への鍵を握る。

町長は選挙で次のことを意思表示してきた。

- ①合併は特例法の期限までが良い。
- ②町として早急に建設計画案を立てたい。
- ③町づくり懇談会を開き広く町民に方向性を示し、町民の意向を集約する。
- ④議会と調整し12月定例議会の承認を得て、年内に法定合併協議会を立ち上げたい。

- ⑤合併は魚津市以东2市3町が基本である。
  - ⑥入善町は規模的、地理的に合併のキーマンになる。
- 幸い町長は約5年間の実績があり、2市3町の首長同士の信頼関係も育ててきた。確固たる決意こそが合併成功の第一条件だ。そこで合併に向けての姿勢および、建設計画案策定の基本構想を示せ。

町長 合併するならば、新川広域圏として長く取り組んできている2市3町を基本的な枠組みとして進めていきたい。建設計画案策定の基本構想は、「扇状地に人、暮らし輝く町入善」を将来像とし、町総合計画に盛り込まれたものを骨子にする。合併協議会の市町村建設計画に組み入れられるよう協議を重ねていく。



当選証書付与式



# 町民の融和を図り公平・公正な町政の運営を期待する

東狐 和 議員

## 町長

選挙の結果を厳粛に受け止め、  
公平・公正をモットーに執行する

問 町長選挙の総括は。

町長 今回もしのぎを削る大変厳しい選挙だった。結果を厳粛に受けとめ、しこりが残らないように、公平・公正な町政の執行にあたりたい。

合併の理念、枠組み、方式を示せ

町民に必要なサービスを最小の経費で最大の効果を提供したい

問 合併には住民、議会が十分に議論していくプロセスが大事である。民意を確認する科学的手法のアンケート調査を考えているか。

町長 目的や対象などを十分に検討し、必要ならば実施する。  
問 市町村合併のスケジュールと関係市町の助役会議の予

定はあるか。

町長 10月末から11月にかけて町づくり懇談会に併せて詳しい資料など提供し、再度町民に意見などを聞いた上で町政の考えを伝えていきたい。

議会とも十分協議を重ね、

12月議会までに合併協議会の立ち上げ準備に入り、特例期限内の平成17年3月までに合併を実現させたい。  
助役 現在新川広域圏の各市



元気いっぱい運動会

町で開かれている定例議会が終了すれば、助役会議が開催されると考えている。

教育のあるべき姿を示せ  
(ゆとり教育元年の相次ぐ悲劇)

よい人間関係をつくる能力を身につけさせること

問 教育は「教える」と「育む」からなり、近年は命を育むことが余りにも軽ろんじられていないだろうか。子どもたちの心の荒廃と闇にどう光を当てるのか。  
米島教育長 家庭、学校、地域が一体となり、事の善悪を教えることが大切。自分で問題解決のすべを身につけさせたい。

問 中学生の援助交際など、心身の荒廃を招く行為は社会犯罪の被害者となる。生徒の人格形成と結びつけた性道德の基本を指導しているか。  
教育長 児童生徒の身体的成長の加速と性情報の氾濫する今日、性への関心は高い。  
将来ある自分自身を大切に心や体を傷つけない行動ができる能力を養う事を基本に、指導手引きを作成する。

特養老人ホーム施設長の公募制を望む

任命権者である当該社会福祉法人の判断によるもの

問 特養老人ホーム施設長の前職は何か。自治体職員の下りではないか。高齢者の医療、福祉の充実に熱意ある人や経営力のある人を一般公募すべきだ。  
上原健康福祉課長 地域福祉の中核的施設の長としてふさわしい人材を期待する。



# アワビ養殖の市場性の見通しは

山下 勇 議員

町長

## 11月から一部販売、ブランド化が価格に大きく影響する



出荷目前、深層水アワビ

問 11月より市場へ第一歩を踏み出す深層水養殖アワビは日本初であるが、価格、市場性の見通しはどうか。現在の経営内容で、2年目から黒字になるのか。

法、市場での信頼確保など事業戦略の試行錯誤が続くと考える。

現在まで6万個余りの稚貝が購入されている。年間6万個の出荷を計画し、収支見込は8月までの経費推計と収支計画を比較すると、光熱費は見込みより増加となり、ケイ藻類の繁殖により餌代の縮減が見込まれ、総額ではほぼ計画に近い状況である。黒字への転換は、販売戦略によるところが大である。

問 鍋谷海洋深層水課長 利活用の状況は夏場において、地場産の岩ガキ、サザエなどの蓄養に活用されており、よい成果をあげている。

### 深層水利用の健康施設が急務

### 町民の英知を集めて成功させたい

問 海洋深層水利用による健康づくりと施設整備が急務と考える。町民の願望は健康と人的交流のできるタラソテラピー関連施設である。町長の水博物館構想と深層水を生かした民間共同開発、PFI的な事業展開はできないか。

海洋深層水課長 今年、利活用促進支援事業を立ち上げた。申し込みが3カ所からあり認定した。周辺の発展構想は、観光交流やエリア整備に先がけ、昨年度に調査事業が終わっている。町の総合計画の中で交流エリア早期実現を図っていく。

海洋深層水事業は入善町の顔でもあるが、これらを実現

するための財源確保は町としては大変難しいので、民間主導型の展開方法など町民の英知を集めて成功させたい。

企業誘致も、具体的に相談をうけている企業が何社かある。立地には微妙な問題もあり、めどがつかないとはつきり申し上げられない。

### 今回の選挙での寿楽苑への対応は

### 問題はなく、役割を果たした

問 舟見寿楽苑に対し不在者投票をどのように指導したか。

委員長 対応を聞く。

選挙管理委員長 投票には選管委員1名、町職員1名が立ち会い、問題なしとの報告を受けた。

昨年の選挙については、可能な限り努力したが、不十分な結果となり、深刻に受けとめた。4人の委員全員が辞職すべきとの結論に達したが、再選挙も予想されることから、厳正に選挙を執行することが責務と思い、私が委員長職務を務めた。



# 議員主催のゴルフコンペへの支出は不適切

松田 俊弘 議員

大幅に引き上げられる  
介護保険料の減免制度を

必要な方に個別に  
対応していく

## 収入役

### 議員の懇談を通じて広域圏の発展に

### つながるとのことで助成されていたと思う

問 魚津市以東の2市3町の議員有志で開催されているゴルフコンペの参加費の一部に、一昨年末で議長交際費から支出されている。町民の税金が一部議員の私的な遊興費に当てることはあってはならない。

返還を求めるべきだ。尾崎収入役 プレー代全額と大会後の懇談会の一部は本人負担であり、懇談会の一部が議長交際費から支弁されている。各議会の議会議員が、懇談会を通じて地域の発展のた

めに議論されることは、広域圏全体の発展につながるから助成されていたと思う。昨年からは、一切これへの支出は取りやめている。

### 政府の米政策の方向では農業をだめにする

### 農協関係者から相当の反発の声があがっている

問 6月に政府が発表した「米政策の再構築に向けた中間取りまとめ」の内容は、一層市場原理を徹底させることで、さらなる米価の暴落を招く。また、米の生産にも企業支配を許すというところでもない方向になっている。持続可能な農業を求める農家と、安全な国内産作物を求める消費

者の期待とは全くかけ離れている。

生産者米価を1俵2万円とする下ごさえの仕組みを確立し、ミニマム・アクセス輸入米は海外援助に振り向けるなど、米政策に政府の責任ある対応を求めるべきである。

入善町農業の特徴を生かし、食料自給率の向上と安全な食料を安定的に供給するために、町独自の「農業振興条例」を制定すべきである。

中島農業水産課長 JAグループ代表委員から、相当の反論、修正要求がある。今秋の最終取りまとめをまっとうして、関係機関と協議し、県を通じて国に働きかけたい。

町長 「農業振興条例」は、今は考えてはいない。必要と感じれば検討する。

問 来年4月から、65才以上の介護保険料の大幅な引き上げが検討されているが、保険料の増額は、高齢者の生活を脅かしかねない。政府に対して、国庫負担の引き上げを強く求めるべきだ。

保険料徴収の所得区分を現在の5段階から6段階に改め、低所得者の保険料の減免制度を確立すべきである。

健康福祉課長 保険料は現行の基準値2800円から7800円アップになる。県内では、6段階への動きは聞いていないが、事業計画策定作業の中で介護保険組合と共に検討していきたい。なお、保険料の低所得者への減免は、必要な方に個別に対応していく。

国庫負担の引き上げは、国の深刻な財政の中では困難と思うが、県、町村会などを通じて働きかけていきたい。



ガンバレ 農家



# 僅差での勝利、どう受けとめているか

大橋 美椰子 議員

## 町長 誠心誠意、町政運営に努力していく

問 裁判での町長選無効。昨年10月は8票、今回は24票と僅差で当選された。

どう受けとめているか。

町長 結果的には前回と同様、町を二つに割る激しい選挙戦であった。互角の結果は、支援、反対のいずれも半々であることを考えると、今後とも誠心誠意、町政運営に努力していくことが大切である。

「町民融和」の具体的な行動を示せ

分け隔てなく町政執行にあたる

問 選管委員長から「町民融和」との言葉があり、町長も抱負の中で使っている。具体的にどう行動であらわすか。

町長 今回の選挙結果を厳粛に受けとめたい。選挙のしこりが残らないようにすることはもちろん、これまでどおり、分け隔てなく町政の執行にあたりたい。やはり公平・公正をモットーに町政運営にあたるのが町民融和に結びつくものと考えます。

「入善町雇用対策推進本部」の実績と効果は

失業中の生活相談が中心

問 1月にスタートした国の「緊急地域雇用創出特別交付金」制度での、町の取り組みの成果を聞きたい。

助役 当本部は他の市町村に先駆けて設置、失業中の生活相談を中心に11件受けた。今後も雇用の場の創出、町内企業の雇用状況の調査、雇用に関する相談の受け付けなどで住民生活の安定を図りたい。



着々と進む下水道工事

昨年と比べて170人の従業員減少、来年新規採用計画はわずか5人。今後第3次産業、サービス産業、各分野の掘り起こし開拓に取り組むことが不可欠。既存企業には、技術を活かして新規事業に取り組む事業所もある。

建設業の実態および共同企業体を組む理由は

建設工事の減少、経済的危険負担の分散

問 県は単独建設事業を積極的に推進すると述べた。町の

建設業の実態と下水道工事における共同企業体への発注理由は何か。

助役 13年度は113社1537人で、8年度以降12から15%の減少。経済界全体の冷え込みなどで建設工事が減少。複数の建設業者が共同で工事を行う共同企業体には、大規模工事などによる工事発注を試行。利点は、融資力の増大、資金負担の軽減、経済的危険負担の分散、技術の拡充、工事施工の確実性があげられる。

業者のランク付けは誰がするのか。特Aとは

指名業者選定委員会で決定、4ランク以外考えず

問 業者にAからDのランクがあり、ランクが変わっている業者があるが、誰が決定するのか。特Aがあると聞くと、町内業者に均等に仕事があったりするような仕組みにすべきだ。助役 経営事項審査結果の総合評価などを審査して、「指名業者選定委員会」で決定。4ランク以外の設定はない。



# 市町村合併ちゃ、どうなるがけえ～!!

なぜ今、市町村合併なのか。「少子・高齢化に対応するために必要」「行政サービスが低下する」など、様々な意見が出されています。今回は、合併論議の最大の要因となっている財政面について、2市3町の助役がつくっている新川地域合併研究会の資料から紹介します。

## 地方交付税の見直し?

地方交付税は、国から地方自治体に交付されるもので、行政サービスに必要な支出に比べ税収入が不足する自治体に交付される。国、地方を合わせた借金残高は、平成13年度末で666兆円に達し、財政の悪化の中で、地方財政制度の抜本的な見直しの議論が出てきている。平成16年度には地方交付税の大幅な改定が伝えられており、入善町も大幅な削減を予想している。

## 合併による地方交付税の削減

地方交付税は人口が少ないほど大きな割合で交付されており、合併で人口規模が大きくなれば交付税が減少する。国が合併を進める最も大きなねらい。

## 新川地域合併研究会の試算

	12年度歳入総額	12年度普通交付税	合併後の減額分
魚津市	208億5800万円	33億9000万円	4億700万円
黒部市	167億8600万円	24億900万円	4億8900万円
宇奈月町	51億1200万円	6億1400万円	5億400万円
入善町	137億700万円	29億4400万円	4億9100万円
朝日町	79億9900万円	25億7100万円	5億200万円
合計	644億6200万円	119億2800万円	23億9300万円

この計算は低く見積もった場合であり、厳しく計算すると合計33億円の減となる。

## 合併特例法による算定替え特例とは

一度に24億円から33億円もの交付税の減額は、合併後の自治体に大きな影響を及ぼすので、合併後10年間は従来通り交付税を算出し、その後5年間で完全な減額が行われる。

この間の、職員の削減などによる行政のスリム化で合併10年後には、32億円の人件費の削減が試算されている。

## 合併特例債とは

合併した自治体に特別に認められる借金。主に建設事業を対象にし2市3町では568億円。その元利償還分の70%を国が後の地方交付税に参入させるもので、30%は自治体独自に返済する。

## 合併に関する議員全員協議会の立ち上げ

これまで議会では、合併特別委員会を設け論議してきましたが、町の将来に関わる重要な問題だけに、議員全員での論議が必要として「合併に関する議員全員協議会」を立ち上げました。

合併に対する皆様のご意見をお寄せ下さい。

《連絡先》 入善町役場 議会事務局 入善町入膳3255 TEL72-1100 FAX72-4711  
E-mail: gikai@town.nyuzen.toyama.jp



# 傍聴席からひやひや



小林 定雄

毎回のよう傍聴してはいますが、いつも傍聴者が多いのに感心しています。

ただ、議員が真剣に発言している最中に、話しを聞かずに回りと談笑する議員の姿は、見ていて良い感じがしません。

今回は、町長選の話が多くありましたが、議会にそぐわない発言もあったように思います。

また、合併については、もっと住民の意見を聞いて慎重に扱うべきだと思います。

私はコメを作っていますが、農業を取り巻く状況は年々厳しくなっています。農家の心情をとらえて、もっと農家の意見を取り上げてもらいたいと思います。



直井 松子

私は視覚障害者です。

今回の議会傍聴には何としても行きたく近所の方にボランティアをお願いしました。

10時間前、一瞬の緊張感に肌をじーんと伝わり厳粛な気持ちで待ちました。

一般質問で特に残ったのは1つには合併問題です。

期限内での2市3町の合併は病院やヘルパーさんの事を考えるとこれは絶対やるべきだと思います。

2つにはケーブルテレビの各家庭への設置です。私にとって大変な朗報です。議会の一一般質問がテレビで放映され、手話通役がつけば、視覚障害者にとって家庭で傍聴ができます。

最後に町長が何度も言われた「公平・公正な町政」をとの発言。何としても実行していただき、明るい入善町へとお願ひ致します。

## 入善むかし話

(森清松編より)

### 浦山新の川神さま

浦山新のお宮の本尊は、川の中にあつた大石です。

むかしから、黒部川がたびたび洪水をおこしましたが、あわやと思うときでも、この大石より東がわへ水はいきませんでした。

そのため、浦山新の人たちは、「なんとありがたい石だろう。そうだ。いっそ、神さまにおまつりしよう。」と話し合つて、お宮さんをつくつて、おさめたものです。



大石の一部で作られたお地藏さまがまつられる神明社。築後125年で来年建てかえられる。

## 編集の窓

戦後、日本の最高指導者として初めて北朝鮮の地を踏んだ小泉首相。金正日総書記に拉致事件への国家的関与を認めさせ、謝罪を引き出した事は日朝間国交正常化の第一歩を踏み出したといえる。

しかし、「全員無事帰国」を願っていた家族には裏切られた結果となった。しゃく然としない情報に家族、日本中が悲しみから怒りに変わっている。

急がれる正常化交渉も拉致問題の解決なくして罪は開かないであろう。

◆ 富山県出身の田中耕一氏がノーベル化学賞を受賞。

前日の小柴氏のノーベル物理学賞に続いての快挙である。

43歳の若さで県人初の受賞。

青少年に大きな夢を与えてくれた田中さん、おめでとう。そして、ありがとう。

### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 元鳥 正隆 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員   | 上田 健次 |
| 〃    | 大橋美椰子 |
| 〃    | 谷口 一男 |
| 〃    | 上野 等  |

地球にやさしい再生紙を使用しています